

WPFから8月の原水爆禁止世界大会へ 2006年世界大会成功めざす「行動月間」ニュース

発行: 原水爆禁止日本協議会 電話 03 5842 6031 FAX 03 5842 6033
URL <http://www10.plala.or.jp/antiatom/> Eメール antiatom55@hotmail.com 【2006年6月6日 NO.4】

首都から昨年(1088名)上回る大会参加めざす - 東京

新事務局長先頭に団体要請へ

6月3日、東京都内で東京原水協第51回総会が開かれ13団体36地域・役員107名が参加しました。

総会では、昨年のNPT再検討会議にむけての「いま、核兵器の廃絶を」署名のとりくみや、1088名の代表派遣で2006年世界大会の成功に大きく貢献した東京のとりくみ、原爆症認定集団訴訟の原告支援の活動など、被爆60年の運動前進に首都東京の原水協が大きな役割を担ったことを確信に、今年の世界大会を昨年を上回る参加で大きく成功させることを参加者全員で確認しました。

討論では、地域原水協の代表が次つぎ発言にたち、6・9行動や原爆展などにねばり強くとりくんできた経験を報告し、「すみやか」署名前進への決意が語られました。また、世界平和フォーラムに参加する民青同盟の代表が、若々しく決意をのべ大きな拍手に包まれました。

総会は、次期役員を選出。新事務局長に石村和弘さんが選ばれました。総会后、さっそく大会への代表派遣と署名の団体要請をはじめています。

中国ブロック会議での発言より

6月1日、岡山市で中国ブロック会議が開かれました。世界大会代表派遣のとりくみで、山口県に加藤碩事務局長の発言(要旨)を紹介します。

加藤: いま、岩国では住民が住民投票や市長選挙を通じて堰を切ったようにものを言いはじめています。「6・9行動」をやっても、反応が大変良い。市長も市民も原水協が「の会」を支えた有力な団体であることを知っている。変化・発展している側面を大きく押し出していくことが必要。

合併岩国市での選挙結果や近隣の防府市での市長選挙結果でも、安倍(晋)が推した自民党推薦の候補が敗北し、地元では「安倍総裁はない」と

話題になっている。

世界大会は、これまで団体の縦割りの動員型だった。地域原水協の強化が決定的と昨年から一つひとつ起こしていく以外にないと努力してきた。とくに、構成団体が原水爆禁止運動の意義を理解すれば、他の課題にも力になっていく。「核は人類の生存にかかわる課題」...訴えて燃えないはずはない。これで、地域原水協が元気になりだした。

全県に100分会ある**高教組**は毎年世界大会に30~40人、組合から参加費を出してきたが、地域原水協に理事をだすなど地域との連携をつよめ、派遣募金を職場などでやることになり、学習重視しながら署名とあわせて前進している。

「原水協通信」22部拡大! - 鳥取

3月末に全県非核平和宣言を達成した鳥取県で最近「原水協通信」22部が増えました。

県原水協は、非核平和宣言を地域原水協発展の土台にしようと、先ず「原水協通信」5月号を日本共産党の地方議員全員に送って要請しました。要請したことは、平和宣言にもとづき行政をやってほしい、「すみやか」署名と世界大会派遣へ協力してほしい、地域原水協確立の力になってほしい、「原水協通信」を購読してほしい、これを25人全員に出しました。その後、後追いで全員に電話確認したところ、22人が読者となりました。世界大会パンフも配布し地方議員のみなさんに原水協を知らせる活動を継続的にすすめていくことにしています。

「行動月間」最初の6・9行動を成功させ、地域への署名・国民募金にとりくみましょう!

本日の「6・9」行動の結果をお知らせください。(FAX03-5842-6033)